

教科名	数 学 科		週時間数	4 時間	学年	3 年
使用教科書 及び 副教材等	教科書 「未来へひろがる 数学3」(啓林館) 副教材 ・「クリアノート3」(浜島書店) ・「基本から発展へ数学3」(正進社) ・「新・数学の基礎練習」(正進社)					
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・数量、空間に関する基礎的な知識、技能を身につける。 ・筋道を立てて考え、ものごとを合理的に処理する能力を伸ばす。 ・自主的、積極的に考え、新しいものごとを理解し創造しようとする能力と態度を養う。 					
目指す姿	支え合う	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に対して数学的な見方・考え方を働かせて、自分の考えを持ったり、他者にわかるように伝えたりしようとする姿。 ○グループ活動を通して、自分の考えを他者に伝えるとともに、他者の考えを受け入れ、相違点や共通点について考えようとする姿。 				
	高め合う	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ活動などを通して、気づいてことをもとに、思考を深めることで、問題を解決しようとする姿。 				
学習の進め方	【学習への取り組む姿勢】					
	<ul style="list-style-type: none"> ○授業では教科書を中心に、基礎学力をつけることを目標に進めましょう。 ○基本問題を終えた後、おもに問題集を使い応用問題にも取り組みましょう。 ○授業中の発表、発言、生徒同士の教えあいを大切に、意欲的に授業に取り組ましましょう。 					
	【家庭学習】					
定期テスト	出題方針	教科書の内容に準じて、基本的な数学力を問う問題を出題します。また、応用問題の出題により、数学的な思考・判断・表現の習熟度を計ります。				
	範 囲 (予定)	1学期中間	<ul style="list-style-type: none"> ・式の展開 ・因数分解 			
		1学期期末	<ul style="list-style-type: none"> ・平方根 ・二次方程式 			
2学期中間		<ul style="list-style-type: none"> ・二次方程式 ・関数 $y = ax^2$ 				
2学期期末		<ul style="list-style-type: none"> ・関数 $y = ax^2$ ・円 ・図形と相似 				
学 年 末		<ul style="list-style-type: none"> ・円 ・標本調査 ・三平方の定理 ・三年生の復習 				
評価方法	観点	評価の方法		評価について		
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、定期テスト等 ・授業への取組 		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けられたか。 		
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、定期テスト等 ・授業への取組 		<ul style="list-style-type: none"> ・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする。図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や関係を直感的に捉え論理的に考察し表現する。数量の変化や対応に着目して関数関係を見出し、その特徴を表、式、グラフなどで考察する。データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりできる。 		
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、定期テスト ・ワーク、ノート、プリントの提出と取組内容 ・授業への取組 		<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク、ノートの提出物、プリントの達成状況や取り組み内容、授業態度や意欲的な姿勢等を総合的に判断する。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたか。 			